

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		竣工段階		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	評価点	重み係数	評価点	重み係数			
Q 建築物の環境品質								2.9
Q1 室内環境			0.40					2.8
1 音環境		3.4	0.15	3.1	1.00			3.3
1.1 騒音		3.0	0.43	3.0	0.50			
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	0.50			
2 設備騒音対策		-	-	3.0	0.50			
1.2 遮音		4.6	0.43	3.3	0.50			
1 開口部遮音性能	T-2以上をサッシを使用	5.0	0.83	5.0	0.30			
2 界壁遮音性能		3.0	0.17	2.0	0.30			
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
4 界床遮音性能(重量衝撃源)		-	-	3.0	0.20			
1.3 吸音		1.0	0.14	-	-			
2 温熱環境		1.7	0.35	2.8	1.00			2.0
2.1 室温制御		2.5	0.50	3.8	0.50			
1 室温	住居部分においては各居室毎に十分な容量の個別空調を設置	2.0	0.48	5.0	0.63			
2 負荷変動・追従制御性		-	-	-	-			
3 外皮性能		3.0	0.27	2.0	0.38			
4 ゾーン別制御性		3.0	0.25	-	-			
5 温度・湿度制御		-	-	-	-			
6 個別制御		-	-	-	-			
7 時間外空調に対する配慮		-	-	-	-			
8 監視システム		-	-	-	-			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	3.0	0.20			
2.3 空調方式		1.0	0.30	1.0	0.30			
3 光・視環境		2.1	0.25	3.3	1.00			2.4
3.1 昼光利用		3.4	0.36	4.0	0.30			
1 昼光率	採光を南側に計画、昼光率事務所部分2.4%、住居部分3.8%	4.0	0.43	5.0	0.50			
2 方位別開口		-	-	3.0	0.30			
3 昼光利用設備		3.0	0.57	3.0	0.20			
3.2 グレア対策		2.0	0.21	3.0	0.30			
1 照明器具のグレア		-	-	-	-			
2 昼光制御		2.0	1.00	3.0	1.00			
3 映り込み対策		-	-	-	-			
3.3 照度		2.0	0.11	3.0	0.15			
3.4 照明制御		1.0	0.32	3.0	0.25			
4 空気質環境		3.9	0.25	3.8	1.00			3.8
4.1 発生源対策		4.0	0.53	4.0	0.63			
1 化学汚染物質	F をを全面的に採用	4.0	1.00	4.0	1.00			
2 アスベスト対策		-	-	-	-			
3 ダニ・カビ等		-	-	-	-			
4 レジオネラ対策		-	-	-	-			
4.2 換気		3.2	0.33	3.6	0.38			
1 換気量	シックハウス換気量を満たす風量を確認する。	3.0	0.43	3.0	0.33			
2 自然換気性能	有効換気面積が床面積に対して事務所部分が0.18、住居部分が	5.0	0.13	5.0	0.33			
3 取り入れ外気への配慮		3.0	0.43	3.0	0.33			
4 給気計画		-	-	-	-			
4.3 運用管理		5.0	0.14	-	-			
1 CO ₂ の監視		-	-	-	-			
2 喫煙の制御	事務所、物販店部分において禁煙を実施	5.0	1.00	-	-			
Q2 サービス性能		-	0.30	-	-			3.2
1 機能性		2.8	0.40	4.0	1.00			3.1
1.1 機能性・使いやすさ		1.5	0.40	4.0	0.60			
1 広さ・収納性		3.0	0.14	-	-			
2 高度情報通信設備対応	光配線方式による情報通信を確保(100Mbitブロードバンド利用可)	3.0	0.14	4.0	1.00			
3 バリアフリー計画		1.0	0.72	-	-			
1.2 心理性・快適性		4.0	0.30	4.0	0.40			
1 広さ感・景観		3.0	0.24	3.0	0.50			
2 リフレッシュスペース	住宅用途以外が全館禁煙	3.0	0.24	-	-			
3 内装計画	CGなどを用いて内装イメージを共有しながら進めた	5.0	0.53	5.0	0.50			
1.3 維持管理		3.5	0.30	-	-			
1 維持管理に配慮した設計	長期的な利用を考えた材料を選択しました	4.0	0.50	-	-			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50	-	-			
3 衛生管理業務		-	-	-	-			
2 耐用性・信頼性		3.1	0.31	-	-			3.1
2.1 耐震・免震		3.0	0.48	-	-			
1 耐震性		3.0	0.80	-	-			
2 免震・制振性能		3.0	0.20	-	-			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.3	0.33	-	-			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23	-	-			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔		3.0	0.23	-	-			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09	-	-			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08	-	-			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水、給排水配管がPP、排水管がVP、Eは不使用	5.0	0.15	-	-			
6 主要設備機器の更新必要間隔	キュービクル、受水槽	3.0	0.23	-	-			

2.4 信頼性	1 空調・換気設備		3.2	0.19	-	-	
	2 給排水・衛生設備		3.0	0.20	-	-	
	3 電気設備		3.0	0.20	-	-	
	4 機械・配管支持方法		3.0	0.20	-	-	
	5 通信・情報設備		3.0	0.20	-	-	
		光ケーブル方式を採用。浸水はなし		4.0	0.20	-	-
3 対応性・更新性			3.2	0.29	3.8	1.00	3.3
3.1 空間のゆとり	1 階高のゆとり	住居系階高が3.0m以上	3.4	0.22	4.6	0.50	
	2 空間の形状・自由さ	壁長さ比率が事務所系が0.25、住居系が0.28	3.0	0.60	5.0	0.60	
3.2 荷重のゆとり	1 階高のゆとり		4.0	0.40	4.0	0.40	
	2 空間の形状・自由さ		3.0	0.22	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			3.2	0.56	-	-	
1 空調配管の更新性	1 空調配管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	2 給排水管の更新性		3.0	0.17	-	-	
	3 電気配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	4 通信配線の更新性		3.0	0.11	-	-	
	5 設備機器の更新性		3.0	0.22	-	-	
	6 バックアップスペース	バックアップ設備を設置するスペースあり		4.0	0.22	-	-
Q3 室外環境(敷地内)			-	0.30	-	-	2.8
1 生物環境の保全と創出			2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮			3.0	0.40	-	-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.5	0.30	-	-	3.5
3.1 地域性への配慮・快適性の向上	監視カメラ配線を設置		3.0	0.50	-	-	
	3.2 敷地内温熱環境の向上	屋上緑化、浸透系舗装、屋上に室外機置場を設置した等	4.0	0.50	-	-	
LR 建築物の環境負荷低減性			-	-	-	-	3.1
LR1 エネルギー			-	0.40	-	-	3.3
1 建物の熱負荷抑制			2.7	0.33	-	-	2.7
2 自然エネルギー利用			2.8	0.20	-	-	2.8
2.1 自然エネルギーの直接利用			2.7	0.50	-	-	
	2.2 自然エネルギーの変換利用		3.0	0.50	-	-	
3 設備システムの高効率化	LED照明を採用した		4.3	0.33	-	-	4.3
集合住宅以外の評価 (ERRによる評価)		ERR=30.1%	4.7	-	-	-	
	集合住宅の評価		3.2	-	-	-	
4 効率的運用			3.0	0.14	-	-	3.0
4.1 モニタリング			3.0	0.50	-	-	
	4.2 運用管理体制		3.0	0.50	-	-	
LR2 資源・マテリアル			-	0.30	-	-	3.1
1 水資源保護			3.4	0.15	-	-	3.4
1.1 節水	節水型器具の積極的な採用		4.0	0.40	-	-	
	1.2 雨水利用・雑排水等の利用		3.0	0.60	-	-	
1 雨水利用システム導入の有無			3.0	0.76	-	-	
	2 雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.24	-	-	
2 非再生性資源の使用量削減			3.1	0.63	-	-	3.1
2.1 材料使用量の削減			2.0	0.07	-	-	
	2.2 既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24	-	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用			3.0	0.20	-	-	
2.4 非構造材料におけるリサイクル材の使用	2階屋外廊下、屋上デッキ部分に使用した樹脂デッキがエコマーク		3.0	0.20	-	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材			2.0	0.05	-	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み	外壁が躯体に塗装仕上		4.0	0.24	-	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22	-	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用			3.0	0.32	-	-	
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68	-	-	
1 消火剤			-	-	-	-	
	2 発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50	-	-	
	3 冷媒		3.0	0.50	-	-	
LR3 敷地外環境			-	0.30	-	-	3.0
1 地球温暖化への配慮	LCCO2排出率が79%		3.8	0.33	-	-	3.8
2 地域環境への配慮			2.4	0.33	-	-	2.4
2.1 大気汚染防止			3.0	0.25	-	-	
	2.2 温熱環境悪化の改善		2.0	0.50	-	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制			2.7	0.25	-	-	
	1 雨水排水負荷低減		3.0	0.25	-	-	
2 汚水処理負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
3 交通負荷抑制			3.0	0.25	-	-	
4 廃棄物処理負荷抑制			2.0	0.25	-	-	
3 周辺環境への配慮			2.8	0.33	-	-	2.8
3.1 騒音・振動・悪臭の防止	1 騒音		3.0	0.40	-	-	
	2 振動		3.0	1.00	-	-	
	3 悪臭		-	-	-	-	
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制	1 風害の抑制		3.0	0.40	-	-	
	2 砂塵の抑制		3.0	0.70	-	-	
	3 日照阻害の抑制		1.0	-	-	-	
3.3 光害の抑制	1 風害の抑制		3.0	0.30	-	-	
	2 砂塵の抑制		2.3	0.20	-	-	
	3 日照阻害の抑制		2.0	0.70	-	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			2.0	0.70	-	-	
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策			3.0	0.30	-	-	